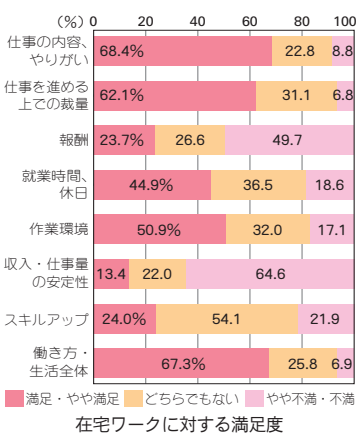




参考サイト「ホームワーカーズウェブ」
http://www.homeworkers.jp/



在宅ワークに対する満足度

住みよい広島をみんなで考えていきたいと思います。記事へのご意見や感想、要望などは、編集長ダイレクトeメールへお寄せください。
hensyucho@hiving.jp

多様な働き方の一つに「在宅ワーク」という選択肢も… あなたの強みを生かせば 自宅でも仕事ができる時代

在宅ワークとは
パソコンなどの情報通信機器を使い、請負や契約に基づいてサービスの提供などを行うこと。在宅勤務や内職とは異なります。

「在宅ワーク」とは、パソコンなどの情報通信機器を使い、請負や契約に基づいてサービスの提供などを行うこと。在宅勤務や内職とは異なります。

在宅ワークは個人事業主、自身の注意が肝心
仕事と育児を両立させる働き方ができる在宅ワークは、社会的な関心や期待が大きい一方で、契約をめぐるとトラブルが発生してしまいます。そのため、公的な支援を望む声もあ

在宅ワークを始めたと思ったら
「まずは、在宅ワークを正しく知ることが大切。ワークは、会社員や内職と異なり、基本的に個人事業主なので、仕事のスキルだけでなく、発注先との契約や法律に関する知識も必要です」と大嶋さん。その助けとなるのが、在宅ワークの総合支援サイト「ホームワーカーズウェブ」。

政府が掲げる成長戦略の一つ、「女性の活躍の推進」に沿って、女性の働き方も多様化しています。在宅ワークもその一つで、近年ワークの数が増え続け、約130万人とも言われています。在宅ワークにはどんな仕事があるのか、需要は？…そんな疑問を在宅ワーク事情に詳しい、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの大嶋淳俊さんに聞きました。

在宅ワークの難しさ
①賃金が安く、生計が成り立たないため労働といえないケースがある
②仕事に対する責任感があいまいで、趣味の延長と思われるケースがある
③業務内容が限られていて、仕事の発注が少ない
④自宅という環境下では、本人の自覚がしっかりとないと仕事にならない



政府が掲げる成長戦略の一つ、「女性の活躍の推進」に沿って、女性の働き方も多様化しています。在宅ワークもその一つで、近年ワークの数が増え続け、約130万人とも言われています。在宅ワークにはどんな仕事があるのか、需要は？…そんな疑問を在宅ワーク事情に詳しい、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの大嶋淳俊さんに聞きました。



大嶋淳俊さん（三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)経済・社会政策部主任研究員）

同社は、厚生労働省から委託を受け、「在宅就業者総合支援事業」の事務局として、在宅ワークの総合支援サイト「ホームワーカーズウェブ」の運営やセミナー開催などを行っています

多様化する仕事の内容

在宅ワークの状況は時代とともに変化しています。昔は、データ・文書入力などの単純作業が主流でした。発注側の中小企業では、単に安い労働力を求めて、在宅ワークに登録し、仕事を紹介してもらう方法が多かったようです。現在は、ウェブサイトの作成や運営、システム開発やデザイン、設計や翻訳といった専門性を必要とする仕事、看護師や薬剤師などの資格を生かせる仕事が増えています」と大嶋さん。新たなアイデアや、生活者としての意見を期待し、積極的に在宅ワークを活用する大手企業も目立ってきているそうです。

在宅ワークで仕事を獲得するルートは、大きく3つ。1つ目は、企業と直接やりとりする方法。以前務めていた会社から仕事を請け負うケースが主流です。2つ目は、仲介機関に登録し、仕事を紹介してもらう方法。3つ目は、話題の「クラウドソーシング」（仕事のマッチングサイト）を通して仕事を獲得する方法です。「クラウドソーシングの登場で、高度なスキルを持ったプロフェッショナルから、小さなコラムを書くライターまで、自分に合った仕事を手軽に探せるようになり、在宅ワークの業種は、さらに多様化しています」と、将来性を示唆します。